

令和4年度 養護教諭5年経験者研修 実施計画

目 次

実 施 要 項	・・・・・・・・	1
関 係 様 式	・・・・・・・・	4

宮 城 県 教 育 委 員 会

実施要項

1 目的

養護教諭としての経験を基に、専門的・実践的な研修を行い、児童生徒の心身の健康・安全に関する様々な課題に対応するために必要な指導力と実践力の向上を図る。

2 主催

宮城県教育委員会

3 対象

小学校，中学校，義務教育学校，高等学校及び特別支援学校に在籍し，教職経験5年経過6年目の養護教諭（過年度未受講者を含む）

【留意事項】

- (1) 県外及び私立の学校の養護教諭経験年数は当該在職期間に通算する。
- (2) 臨時的に任用された期間は，当該在職期間に通算しない。
- (3) 休職の期間が引き続き1年以上の場合，その期間の年数（1年未満の端数があるときは，これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。
- (4) 育児休業の期間が引き続き1年以上の場合，その期間の年数（1年未満の端数があるときは，これを切り捨てた年数）を当該在職期間から除算する。

4 研修概要

(1) 校外研修(3日)

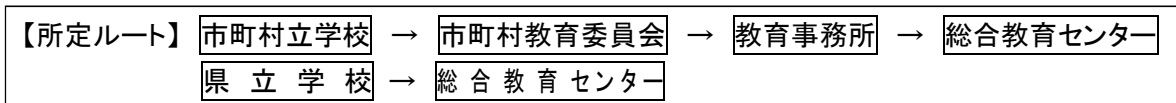
5月26日(木) 会場： 総合教育センター	専門研修1 講義 演習	【養教新採研・中堅養教研と合同】 感染症予防とその対応 救急処置
10月20日(木) 会場： 総合教育センター	専門研修2 講義 講義 講義	【養教新採研・中堅養教研と合同】 学校環境衛生・薬物乱用防止 学校歯科保健の最新情報 整形外科的疾患とスポーツ障害
12月6日(火) 会場： 総合教育センター	専門研修3 実践発表 講義	【養教新採研・中堅養教研と合同】 児童生徒の健康課題を解決するための実践研究 保健室経営計画の立て方

(2) 校内研修(各学校ごとの計画による)

各学校の実情に応じて工夫し，校長，副校長，教頭等の助言の下，年度当初に計画を作成する。その際，あらかじめ各学校の年間計画や月計画に組み入れるなど，確実に実施できる措置を講ずること。なお，校内研修の日数については，各自の実践研究の内容によるため特に定めない。

(3) 校内研修実施報告書について

以下により作成し、所定のルートで提出する。なお、下に示した提出期限は総合教育センターに届く日であり、市町村立学校は市町村教育委員会が定める日を確認の上、提出すること。



様式	文書名	原本保管先		提出期限
		市町村立学校	県立学校	
様式1	校内研修実施報告書	総合教育センター	総合教育センター	令和5年2月24日(金)

※ 各市町村教育委員会は、「様式1」について、写しを保管し、原本を教育事務所経由で総合教育センターに提出すること。

※ 上記様式は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。

様式ダウンロード

◆総合教育センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/sokyos/> > 「研修会情報」

> 「様式ダウンロード」 > 「5年経験者研修」 > 「5年経験者研修様式」 > 「養護教諭」



※ 総合教育センターへの提出は「総合教育センター所長（教職研修班扱い）」とする。

5 受講に係る留意事項

(1) この研修の受講に関する申込手続は、「受講管理システム」から指定された期日までに受講者が確実に行うこと。詳しくは、宮城県教職員研修計画「2 研修会の受講に当たって(2)市町村立小・中・義務教育学校、県立学校、地方機関等における受講申込手続」を参照すること。

(2) 各研修の実施要項は、研修会開催の約1か月前に総合教育センターのホームページに掲載します。各自、研修内容や連絡事項を確認すること。

(3) 校外研修の欠席について

① やむを得ない理由で欠席する場合、関係学校の教頭等は、総合教育センター研修担当指導主事に電話連絡をする。その後、関係市町村教育委員会及び教育事務所経由で総合教育センター所長宛てに「欠席届」（「令和4年度宮城県教職員研修計画」を参照）を提出する。県立学校は、総合教育センター所長宛てに直接提出する。

② 欠席した研修の補充等については、欠席事由や研修内容など一つ一つ異なることから、研修担当指導主事から直接指示を受けるものとする。

(4) 受講延期について

① 産前産後の特別休暇、育児休業、休職、その他やむを得ない理由で校外研修の一部又は大部分を受講することができないことが判明した場合は、受講の延期について、関係学校と総合教育センターが協議を行うものとする。

② 受講延期する場合、関係学校の校長は、関係市町村教育委員会及び教育事務所経由で総合教育センター所長宛てに「延期願」（「令和4年度宮城県教職員研修計画」を参照）を提出する。県立学校は、総合教育センター所長宛てに直接提出する。

③ 「延期願」は、年度単位での扱いとなり、原則として年度当初に提出すること。複数年にまたがる場合は毎年4月に提出すること。

6 その他（校内研修の実践発表について）

校内研修で行った研究の実践発表を校外研修の専門研修3で行う。

- (1) 学校や児童生徒の実態を踏まえた健康課題を取り上げ、課題解決に向けて校内で実践する。
- (2) 研修の内容、成果及び課題等を「児童生徒の健康課題を解決するための実践研究」として実践研究発表資料にまとめ、発表する。
- (3) 実践研究発表資料の様式は、別紙様式にならってA4判2枚にまとめる。
- (4) 実践研究発表資料に事例や写真等を掲載する場合は、プライバシーに十分注意する。
- (5) 実践研究発表資料は一冊の資料集にまとめるので、左右に20mm程度の余白を取って作成する。
- (6) 実践研究発表資料は、以下のアドレスにメールで提出する。なお、補助資料等配布予定の場合は、当日必要に応じて持参する。

宛て先 : 宮城県総合教育センター教職研修班
(養護教諭研修担当者扱い) 宛て
E-mail : teaching-p@edu-c.pref.miyagi.jp
提出期限 : 令和4年11月4日(金)

(様式1)

※経由欄は県立学校の場合不要

教育事務所経由印欄	教育委員会経由印欄
-----------	-----------

養護教諭 ・ 栄養教諭 5年経験者研修 校内研修実施報告書

研修内容の概要
研修成果と今後の課題
養護教諭 ・ 栄養教諭 氏名
総合所見 (校長記入欄)

注 教諭の種別については、不要部分を「 」で見え消してください。

養護教諭 ・ 栄養教諭 5年経験者研修の校内研修について上記のとおり報告します。

令和 年 月 日

学 校 名

校 長 名

公印

(別紙様式)

養護教諭5年経験者研修 実践研究発表資料

1行空ける

「 テ マ
 ~ サ ブ テ マ ~ 」

児童生徒の健康課題及び実践
研究の内容を簡潔に表すテーマ
・サブテーマを設定する。

1行空ける

学校名 △△△立〇〇〇〇学校
養護教諭 氏 名

1行空ける

1 はじめに

学校や児童生徒の実態及び健康課題を挙げ、課題解決に向けた手立ての概要及び
目標を示す。

左右の余白は20mm程度
とること。

2 実践研究の内容

目標を達成するために実践した具体的手立てについて示す。その際、ねらい及び
評価についても明示すること。

※ 実践に当たっては、教職員に周知を図り、年間を通じた計画的・組織的な取
組となるように留意すること。

※ 評価は、その観点(計画どおりに実行できたか、ねらいの達成度等)、方
法・時期等をあらかじめ定めて実施すること。また、自己評価と合わせて、教
職員、児童生徒、保護者等による他者評価の視点も取り入れること。

3 成果と課題

実践から得られた結果及び評価を基に考察し、目標に対する達成の状況を明らか
にした上で、成果と今後取り組むべき課題をまとめる。その際、個々の手立てについ
て、ねらいに対して有効であったか、課題がどの程度解決したかを示すこと。また、
実践全体を通じた目標の達成度を示すこと。

考察や分析の根拠を示す際は、数値で表す等の方法で明示するように留意するこ
と。

【資料の取扱等について】

- (1) 発表資料の作成に当たっては、校長等の指導を受けること。
- (2) プライバシーの保護等に配慮すること。